

カテゴリ	質問	回答	備考
お問合わせ先	問い合わせ先はどちらですか？	下記メールアドレスへお問い合わせください。 Neuro Tech NEDO Challenge運営事務局 neuro-tech@tohmatu.co.jp	
応募要件	応募可能な企業に企業規模の制約はありますか？	企業規模の制約は設けておりません。大企業や中小企業等の企業規模問わず応募可能です。	
	個人でも応募可能ですか？	個人でも応募可能です。詳細は懸賞広告をご確認ください。	
	海外企業との連携は可能ですか？	国外企業との連携応募も可能ですが、国内に籍を有する者を責任者として設定いただきます。	
	連名や複数法人での応募は可能ですか？	連携や複数法人による応募は可能です。但し、グループによる応募の場合、グループの代表者が懸賞金を一括受領する参加者一者（代表者自身でも構わない）を指定いただきます。詳細は懸賞広告をご確認ください。	
	途中で個人応募や法人応募の切り替えるは可能ですか？	懸賞広告の応募資格に沿い、エントリーや応募形態を切り替えることは問題ございません。変更される場合には、応募フォームで再提出する際に、「受付番号」をご入力ください。「受付番号」は新規提出時の返信メールに記載されます。	
	途中からメンバー追加は可能ですか？	可能です。変更される場合には、応募フォームで再提出する際に、「受付番号」をご入力ください。「受付番号」は新規提出時の返信メールに記載されます。	
	補助金等の他公的支援を受けている事業についても応募可能ですか？	提出する成果は「国の競争的研究費（内閣府の「競争的研究費制度」に該当するもの）」のみで作製されたものではないこととしております。ただし、機関投資家等から資金調達を行っている場合でも応募は可能です。	
	本事業の応募に必要な提出物は何ですか？	予選、本選の提出物は内容が異なります。詳細は懸賞広告をご確認ください。	
	テーマの選択において、複数テーマを選択しても問題ないですか？	複数テーマへの応募や選択は可能です。ただし、それぞれのテーマに対し個別の提案書・成果物をご提出いただく必要があります。	
	応募後に内容の修正・再提出は可能ですか？	応募期間中であれば、内容の修正・再提出が可能です。変更される場合には、応募フォームで再提出する際に、「受付番号」をご入力ください。「受付番号」は新規提出時の返信メールに記載されます。	
	説明会への参加は必須ですか。参加した方が有利になりますか？	説明会への参加は必須ではございません。また、説明会への参加が直接審査に有利になることはありません。ただし、応募に当たってのご不明点等を主催者に直接開ける機会でもありますので、ぜひご参加ください。	
応募対象	今回の応募対象に該当する「非侵襲的計測手法」の定義は何ですか？	本コンテストにおいて、「身体組織を損傷・貫通・内部挿入することなく、皮膚表面または体外から脳活動または脳由来信号を取得する方法」を非侵襲的計測手法と定義いたします	
開発・実証	開発・実証の期間に制約はありますか？	懸賞広告に定められた期間内に、成果物を開発・実証の上、提案書等、懸賞広告に沿い提出する必要があります	
	提案技術に使用するデータの提供はありますか？	事務局から特定データの提供ができません。	
	外部からの倫理審査依頼を受託する倫理審査委員会の紹介はありますか？	①厚生労働省の「研究倫理審査委員会報告システム」に登録があること、②外部からの相談を受け付けていること、③研究倫理の審査を実施していること、④脳由来信号を用いた研究の審査実績がある、または評価が可能であることの4つの条件を満たし、掲載を希望された倫理審査委員会(IRB)のリストを別添として公開いたします。 こちらのリストを参考に各自で相談を実施してください。 また、上記①～④の条件を満たすIRBがリストへの掲載を希望される場合、リストに追加しますので事務局へご連絡ください。	
被験者派遣サービスのリストはありますか？	ブレイン・ニューロテック領域における被験者派遣対応可能な業者リストを別添として公開いたします。対応可能な被験者派遣業者が本リストへの掲載を希望される場合、リストへ追加しますので事務局へご連絡ください。		
懸賞金の支払・制度	獲得した賞金で開発費用を賅えない場合は、残りは自社負担という考えでよいですか？	相違ございません。	
	懸賞金の使途に制限はありますか？	NEDOからは懸賞金の使途に対して制限を設けておりません。	
	総合優秀賞と特別賞を両方とも受賞するケースはありますか？	複数の賞を重複して受賞する可能性があります。	4/10回答を更新しました
	懸賞金についても検査・確定行為を行うのですか？	懸賞金としての支払が認められた予算であり、民法に基づき支払うため懸賞金の検査・確定行為は行いません。	
	懸賞金の税務処理はどのように行うのですか？	獲得した懸賞金については、受賞者において適正に処理をしていただきます。	
	グループ体制の応募となるが、懸賞金はどちらに支給されますか？	グループ体制で応募の場合、NEDOから振り込む懸賞金を代表して一括受領する参加者(懸賞金受領者)を一者特定いただきます。懸賞金受領者は、代表者自身でも構いません。懸賞金受領者名とその振込先口座は、代表者から事務局へ提出する請求書に記載いただきます。※ただし海外口座の指定は不可	
	受賞できなかった場合は、一切金銭的な補助はないのですか？	金銭的な補助はございません。ただし、コミュニティにて今後の共同研究・事業化に関する支援や、他者とのマッチング機会などを提供いたしますので、ぜひご参加ください。詳細はコミュニティHPをご確認ください。	
審査	審査結果はどこまで公表されるか、個社ごとにフィードバックをもらえますか？	表彰される上位企業の順位は公表しますが、個社ごとの点数・評価は公表・共有しません。	
	審査結果に不服がある場合、異議申し立ては可能ですか？	審査状況や審査内容など、個別のお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。	
	想定以上にレベルが低い場合、事前想定順位よりも少ない表彰になる可能性はありますか？	必要な基準に到達しない場合は賞金を付与しないことがあります。	
	足切りのようなものはありますか？		
	提案書の作成にあたりフォーマットはありますか？	提案書には指定様式があります。詳細は応募書類をご参照ください。	
	審査基準をまとめた資料はありますか？	別紙ルールブックでまとめております。ご参照ください。	
	倫理審査委員会による審査は必須ですか？	応募自体には必須ではありません。ただし、「総合優秀賞」の入選には必須です。倫理審査が実施できない場合、「審査員特別賞」のみ入選対象となります。詳細は別紙ルールブックをご確認ください。	

	<p>売上とSAMと経済波及効果の違いは何ですか？</p>	<p>・売上：商品やサービスを提供した対価として得られる金額を指します</p> <p>・SAM（Serviceable Available Market）：提案するソリューションの提供価値によって獲得できる最大の市場規模を指します。</p> <p>・経済波及効果：提供するソリューションによって作り出される直接・間接含む経済インパクトです。ニーズやペインがどのように、またどの程度解決されるかに基づいて算定し、負の経済効果の縮減も含まれます。</p>	
成果発表・公開	<p>事業内容・結果はどの内容まで公表されますか？</p>	<p>応募概要（提案書の一部）は原則として特設サイトで公表します。非公開希望の箇所がある場合は、明確に範囲をお示しください。</p>	
	<p>成果PRにあたってどのような取組みを予定していますか？</p>	<p>表彰式やNewsPicks記事、コミュニティイベントを通じたPR支援などを予定しています。また、特設サイト等でも広く成果を発信します。</p>	
	<p>開発した技術を事業化するための支援はありますか？</p>	<p>コミュニティを通じて事業化支援をいたします。ぜひご参加ください。詳細はコミュニティHPをご確認ください。</p>	
知的財産権	<p>成果物の権利（知的財産権等）はどこに帰属しますか？</p>	<p>成果物の知的財産権はすべて応募者に帰属します。ただし、第三者の権利を侵害しないよう十分留意してください。</p>	
	<p>開発成果を開発期間中含め学会や論文等に発信することは問題ないですか？</p>	<p>エントリーや応募申請後、開発期間中含め学会や論文等で発信頂いて問題ありません。</p>	
コミュニティ	<p>コミュニティ等のイベントへの参加は必須ですか。参加した方が有利になりますか？</p>	<p>コミュニティへの参加は必須ではございません。また、コミュニティへの参加により審査において加点されることはありません。ただし、他者とのマッチングや今後の共同研究・事業化に関する支援等を予定しておりますので、ぜひご参加ください。詳細はコミュニティHPをご確認ください。</p>	

■3/19 公募説明会でいただいた質問

#	質問	回答
1	脳由来信号のうち、例えば脳波データを使って開発を行うことができる技術者は限られるように思うが、何か支援をうけられることはありますか？	本事業では多様なプレイヤーとの共創での提案を期待しております。技術知見を持っていない事業者の方でも事務局によるコミュニティでのマッチング支援などを通じて応募できるような工夫をしています。
2	説明会で使用したスライドは、共有していただけるのでしょうか？	後日、特設サイト上で動画として公開します。なお説明会資料のうち、ルールブック等については既に公開済みです。
3	ある特定の疾患を対象としたソリューションは対象になりますか？つまりは、医療機器になり得るソリューションという意図です。	テーマに合致したものであれば対象になります。対象の該否に迷われる場合は事務局までご相談ください。
4	基本的には健康者を対象としたアプリケーションを想定しているということでしょうか。	対象者には制限を設けておりません。健康者だけでなく、障害者、傷病者などを対象としたアプリケーションも対象となります。
5	新規技術として、特許出願が前提でしょうか。特許出願内容を考えています。	特許出願は前提ではございません。
6	アウトカムに関してサービスや基盤技術でも良いというコメントをされていたのですが、具体的なイメージが掴めませんでした。恐れ入りますが、補足いただけませんか。	最終的に売り上げに繋がるアウトカムの創出を目指していただければ、サービスでも基盤技術の開発どちらでも問題ございません。
7	脳信号の取得方法は侵襲・非侵襲を問わないのでしょうか？	本チャレンジでは非侵襲のみを対象とします。
8	コミュニティへの参加が、応募のための必要条件となりますでしょうか。	コミュニティに参加をしないでも応募は可能です。
9	予選、本選はそれぞれの程度のレベルが求められますか。	予選においては、最低限、技術コンセプトの形成と構想の策定(TRL2)を行っていただきます。本選においては、最低限、実験室での初期検証が成功する段階(TRL3)までの開発を行っていただくこととなります。
10	瞬きなどのアーティファクト等を使ったほうが精度が高まるという場合でも、それを除いて脳情報に絞ったほうが評価は高いですか？	ルールブックをご参照ください。
11	過去の懸賞型での実績として、採択率は？	案件によって応募数や受賞者は異なります。
12	特別賞の評価の観点はすでに決まっておりますでしょうか？	後日公開いたします。
13	臨床試験などを実施するための費用も全て自前で先出しし、最終的に3位以内に入らなかった場合は、その費用等への助成はないという理解で宜しいでしょうか。	懸賞金以外の助成はございません。なお、各テーマとも上位3者の他、特別賞の受賞者にも懸賞金の支払いを予定しております。
14	審査項目の提案ソリューションの革新について、「既存のケース」とはどのようなものを想定されているのでしょうか。	既存の製品・サービス、過去に論文やプレスリリース等で発表されたものなどを想定しています。
15	将来的な応募テーマとして、エンターテインメント分野でのBCI活用(エンタメ応用)を検討される可能性はありますか？	現時点では未定です。
16	審査におけるCOIの扱いはどうなっていますか？審査員の中に提案者と利益相反が生じるメンバーがいる場合には、該当する提案の審査から特定の審査員が外されるということはあるでしょうか？	応募要項に記載の通り、提案者と利害関係のある審査委員は該当する提案の審査から外れます。
17	「脳由来信号」には従来にない先進的技術で得られる脳信号も対象になりますか。	扱う脳由来信号についてご不明な点があれば、個別に事務局までご相談ください。
18	第一回のコミュニティイベントへの参加は難しいのですが、第二回以降からの参加でもよいでしょうか。	第2回以降からご参加いただくことが可能です。第2回以降はコミュニティメンバーを対象としたイベントになりますので、コミュニティに登録いただき、イベントへの参加登録をお願いします。
19	学生で個人での応募で、大学の研究室の設備を一部利用しての開発・実証をする場合は、アライアンスを組んでいることが前提になりますでしょうか？	アライアンスを前提とすることはありませんが、応募者自身に所属機関とご確認をお願いいたします。
20	「研究開発や事業開発について、実行可能な人材や関係者を含んだ体制になっているか」という審査項目について、「実行可能な人材や関係者」とは具体的にどのような人物でしょうか？	本チャレンジの取組みが終了した後も開発及びビジネス化を継続して実行できる人物・チームあるいは法人です。
21	ビジネス的なニーズに関するエビデンス(アンケートやインタビューなど)について、検証期間中に取得する必要がありますか？	必須ではありませんが、ルールブックの審査項目である「市場創出効果」を評価する際に使用します。
22	代表で応募を予定していますが、ほかのチームにメンバーとして参画することは可能でしょうか？	問題ございません。
23	市場規模について5年後で国内の売上30億、波及効果3000億とのことでしたが、この数字はクリアできないと応募できないのか？	応募にあたってクリアすることは必須ではございませんが、本事業が目指す規模として提示させていただいています。
24	「当該応募者が日本国内に本申請に係る主たる技術開発のための拠点を有していることを要件とします」と特設ページに書かれていますが、「技術開発のための拠点」とは具体的にどのようなものでしょうか？	本チャレンジにおける研究開発を実施する拠点です。
25	予選資料について、エグゼクティブサマリーはアイコン等を用いて視覚的にとなっていますが、予選資料のII(非公開)についても同様に図表やアイコンを併用した説明でよいのでしょうか。	図表やアイコンを併用した説明でよいです。
26	短い研究開発機関の中で、アウトプットやアウトカムの評価をする実験の規模、評価方法(統計解析など)の目安は何かございますか？	特定の目安はございません。ただし、競合優位性や想定ビジネスの説明等に活用する想定で、実験や評価方法を計画いただけましたら幸いです。
27	予選での通過率としてはどのくらいでしょうか？本戦に参加できるチーム数はすでに確定されておられるのでしょうか？	いずれも確定しておりません。
28	コミュニティ参加して新たなメンバーと連携する場合、別グループの参加者と一緒に取り組む可能性が想定されます。1人が複数のグループに参加することが許容されるということでしょうか。	可能です。代表者となれるのは1人各テーマ1件のみとなります。
29	他の研究助成金との成果切り分け等必要でしょうか？	提出する成果は「国の競争的研究費(内閣府の「競争的研究費制度」に該当するもの)のみで作製されたものではないこととしております。
30	審査委員会が重視する3つの柱がありましたが、全てに均一の貢献が有利だと思いますが、ひとつの分野が飛びぬけている場合も評価されますか？	審査はルールブック記載の審査項目に基づき実施いたします。
31	自治体がいわれている評価指標(例えば、神奈川県ME-BYOindex)をアウトカムの1つに用いることは現実的でしょうか？	評価指標としてご活用いただくこと問題ありません。一方で、今回評価いただきたいアウトカムとしては、この指標が改善することによりユーザーが得られる価値について整理・評価をしていただきます。
32	実証結果は本選書類の提出(12月)までに必要でしょうか？	必要となります。予選通過後の開発・検証(実証)結果につきましてまとめていただき、12月の提出をお願いします。

別添 外部受託可能IRBリスト (50音順)

#	名称	リンク	ブレイン・ニューロテック審査実績	IRB書類ライティングサポート	依頼から審査完了までの期間	費用
1	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	<a href="https://www.phrf.jp/">https://www.phrf.jp/</a>	審査実績あり	基本的には提供していません。	直近1年間の中央値で、通常審査の場合約73日となっております。	開示しておりませんので、審査依頼者より直接、当委員会事務局までお問い合わせをお願いいたします。
2	サンドボックス倫理審査委員会	<a href="https://www.sandbox-vr.com/">https://www.sandbox-vr.com/</a>	計15回(製薬、医療機器、化粧品、自動車、建設機械、広告、食品などの業界)	フルサポート可能、ライティングノウハウの技術移転も可能	最短1-2週間	15万円(税抜き)から。時間/被験者属性/実験区分などにより変動
3	特定非営利活動法人 MINS 治験審査委員会事務局	<a href="http://www.npo-mins.com/">http://www.npo-mins.com/</a>	審査実績はないが評価可能	研究計画書につきましては、生命科学・医学系研究倫理指針「第3章 第7 研究計画書の記載事項 (1)」、説明文書・同意書につきましては、生命科学・医学系研究倫理指針「第4章 第8インフォームド・コンセントを受ける手続き等 5説明事項」にごきます項目を満たすようにご作成いただいているかを審査資料提出時に当事務局にて確認させていただきます。 必要に応じて、記載の修正や追記をご提案させていただきます。	通常、審査資料の提出は委員会開催の16日前としておりますが、当委員会に審査依頼いただいたことが無い審査依頼者様につきましては、委員会開催の1ヶ月前には審査資料の案をご提出いただきたく存じます。 各審査日で新規審査枠（新規4件程度）を設定しておりますので、審査のご希望がございましたら早めに審査予約をお願いいたします。審査枠の空き状況につきましてはホームページで随時公開しておりますので、ご確認ください。	新規審査費用(固定費) 400,000円 終了報告費用(固定費) 100,000円 継続審査費用(固定費) 1回あたり100,000円 変更審査費用(変動費) 研究計画に係る資料の変更に関する審査 1回あたり100,000円 迅速審査費用(変動費) 1回あたり50,000円 報告費用(変動費) 1回あたり30,000円

※ IRB から情報提供のあった通り記載

※ リストに掲載しているIRBは、

- ① 厚生労働省の「研究倫理審査委員会報告システム」に登録があること
- ② 外部からの相談を受け付けていること
- ③ 研究倫理の審査を実施していること
- ④ 脳由来信号を用いた研究の審査実績がある、または評価が可能であること

の4条件を満たし、掲載を希望されたIRBとなります。リストは参考情報であり、掲載されていないIRBをご利用いただくことも可能です。

別添 被験者募集業者リスト (50音順)

#	名称	問い合わせ先	ニューロテック関係のサポート実績	Web/現地区分	対応できる被験者の性質 (年齢、居住国、使用言語など)	対応可能な計測モダリティ	対応可能人数	リードタイム	費用
1	株式会社クロス・マーケティング	<p>https://www.cross-m.co.jp/</p> <p>井上靖敬 y_inoue@cross-m.co.jp</p> <p>山田良平 ry_yamada@cross-m.co.jp</p> <p>中島千鶴 c_nakajima@cross-m.co.jp</p> <p>※4/13以降は本事業専用メールリストまでご連絡ください nedo@cross-m.co.jp</p>	過去3年で5件（脳波測定 4件、MRI 1件）	対応可能	<p>●国内調査 年齢：15歳～ ※ただし、10代～20代前半および70代以上は回収が難航する可能性あり。</p> <p>●海外調査 年齢：15歳～ 居住国：世界85か国以上 <a href="https://www.cross-m.co.jp/service/global">https://www.cross-m.co.jp/service/global</a> 使用言語：英語・中国語（繁体字、簡体字）・韓国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語 etc ※基本的にはいずれの言語も対応可能だが、話者が少ないものについては、追加費用が発生する可能性あり</p> <p>●在日外国人調査 年齢：15歳～ ※ただし、ボリュームゾーンは20～40代 居住国：243か国 / 地域 ※全体の70%程度はアジア圏の方 <a href="https://www.cross-m.co.jp/service/global/in_japan_research">https://www.cross-m.co.jp/service/global/in_japan_research</a> 使用言語：英語・中国語（繁体字、簡体字）・韓国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語 etc ※基本的にはいずれの言語も対応可能だが、話者が少ないものについては、追加費用が発生する可能性あり</p>	可能 ※ただし、念のため都度確認必要	指定なし	<p>スクリーナー実施～参加意向者リストのご納品まで 2週間～3週間程度</p> <p>スクリーナー実施～招集まで 1か月～1.5か月程度</p> <p>スクリーナー実施～招集～会場調査アンケート画面作成 / ローデータご納品まで 1.5か月程度</p> <p>※調査仕様によって変動がございます</p> <p>●国内調査 ※謝礼付与はお客さまにてご実施いただく想定です ①スクリーナー実施～参加意向者リストのご納品まで ¥350,000～ ②スクリーナー実施～招集まで ¥580,000～ ③スクリーナー実施～招集～会場調査アンケート画面作成 / ローデータご納品まで ¥760,000～ ●在日外国人調査 ※謝礼付与も弊社にて対応いたします ④スクリーナー実施～招集～謝礼付与まで ¥3,500,000～ ⑤スクリーナー実施～招集～会場調査アンケート画面作成 / ローデータご納品～謝礼付与まで ¥3,700,000～ ※海外調査については都度ご相談くださいませ。 【調査設計】 《WEBリクルート》 ●設問数：スクリーニング15問 ●スクリーニングサンプル数：1,000サンプルまで ●性別：男女 ●年齢：20歳～69歳 ●納品物：参加意向者リスト 《会場調査》 ※弊社にて実施する場合（③⑤のみ対象） ●設問数：15問 ●サンプル数：40サンプルまで ●納品物：ローデータ・GT表</p>	
2	株式会社SandBox	https://www.sandbox-vr.com/	2018年から約70プロジェクト	Web実験は日/米/英/中など約40か国、現地実験は日/米/中が対応可能	性別/年齢/収入区分/使用言語(日/英/中)など広範囲に対応可能。ただしTypical Development/Healthy Subject以外は要相談	計測は全て対応可能。刺激(TMS, tES, TUSなど)はIRB/CRB認可済の場合のみ対応可能。弊社医師とのコラボレーションも可能(緊急対応など)	自社プールは約2000名。1プロジェクトでの最大実績は230名	依頼から最短1-2週間	15万円(税抜き)から。時間/被験者属性/実験区分などにより変動
3	ランスタッド株式会社	<p>https://www.randstad.co.jp/</p> <p>s.saitama.sp@randstad.co.jp</p>	有り	対応可能	18(※高校卒業見込みに限る)～80代	該当機器使用に伴う、身体への影響が出得る可能性を事前に教授頂ければ可 (例)アルコールでかぶれる体質の方は機器使用時に除菌シートでの拭き上げがある為NG	日/30名 ※人選についての制限なしとして	2週間	拘束・実働時間により若干の変動あるもの【時/2600円】

※被験者募集業者から情報提供のあった通り記載

※リストに掲載している被験者募集業者は、ニューロ・ブレインテック領域の相談を受け付けている、掲載を希望された被験者募集業者となります。

リストは参考情報であり、掲載されていない被験者募集業者をご利用いただくことも可能です。